別紙1 デジタル実装タイプTYPE2/3実施計画

申請者情報

都道府県名	北海道
市区町村等名	更別村
地方公共団体コード	0 1 6 3 9 0
担当部局名	企画政策課
責任者名(ふりがな)	本内 秀明(もとうち ひであき)
責任者役職	企画政策課長
担当者名(ふりがな)	今野 雅裕(こんの まさひろ)
電話番号(代表•直通)	0155-52-5252
メールアドレス	kikaku@sarabetsu.jp
申請タイプ(TYPE2/TYPE3)	TYPE3

※広域連携事業の場合は主申請者の情報を記載

1

事業概要(1/2) 【更別村SUPER VILLAGE構想】

実施地域 北海道更別村 事業費 753,373千円

実施主体 更別村、更別村SUPER VILLAGE協議会

事業概要

更別村は農業で生きてきた村です。昔は機械化が未発達で苦労も多かった分、農業を支えるための人と人とのつながりも強かった。しかし、機械化が進んだおかげで、農業生産性は維持できていますが、逆に、子ども達が村から離れ、高齢者世帯が増え、人とのつながりも薄れ、村民の生活への不安はかつてより増しています。

本事業では、カラオケ、料理教室など高齢者が生きがいを発見でき、好きなことを楽しめるサービスや健康サービスをコミュニティナースのサポートと一体的に提供。またこれらを支える様々な機能を持ったデジタル公民館を整備します。これらのサービスを、更別型ベーシック・インフラサービスとして月額3,980円の定額で提供し、人々の繋がりの回復と、村民の健康の向上を図ります。また同時に、最先端のデジタルの力を借りて、高齢者でも楽しく元気に続けられるスマート農業を実現し、暮らしと仕事の両面から、高齢者が最も輝く街を実現します。

取組内容

<u>高齢者が100歳世代まで生きがいを持って楽しく過ごせるために必要な基本サービス</u>を、"(同)更別ソーシャルベンチャー"を村民の協力を得て設立し、提供します。

具体的には、"カラオケ"、"料理教室"など、それぞれの高齢者が生きがいを発見でき、好きな趣味の時間を好きなだけ過ごせる「**趣味系サービス**」と「**健康系サービス**(シニア向け・現役向け)」、さらには、いつでもどこでも医療サービスのサポートを受けられる「**医療系サービス**」の**3つの基本サービスとそれを支えるコミュニティナースのサービス(以下「ひゃくワクサービス」という)を提供。**

また、これら"ひゃくワクサービス"を支える場として、ボイストレーニングルームや料理教室用の施設などみんなが繋がる<u>交流の場</u>や、<u>新たなサービスを生み出すインキュベーション</u>、さらには、<u>オンラインによる各種予約</u>、行政サービス機能などを備えた「デジタル公民館」を整備。"デジタル公民館"では、高齢者でもこれらのサービスを円滑に利用できるように、<u>村内の移動サービスや無料スマホ貸出サービス</u>、フリーWi-Fiサービスを一体的に提供し、村内のデジタル化をサポートします。
"ひゃくワクサービス"と"デジタル公民館"の提供をあわせて、"(同)更別ソーシャルベンチャー"が「更別型ベーシック・インフラサービス」として定額料金月額

3,980円で提供し全国展開を図ります。

なお、本交付金事業では、"更別型ベーシック・インフラサービス"提供のために整備する、データ連携基盤、村内移動サービス、無料スマホ貸出、フリーWi-Fiサービスなどのデジタル基盤を、暮らしだけでなく農業にも活用し、高齢者でも元気に働ける高付加価値型農業を実現するための「**超なまら本気スマート農業**」の実現を同時に図ります。これにより、"生きがい(暮らし)"と"活躍(仕事)"の両面から、**日本で最もシニアが元気に輝く農村**の実現を目指します。

更別型ベーシック・インフラサービス 月額3,980円 ひゃくワクサービス 超なまら本気スマート農業 趣味系 健康系 医療系 自動化農業 すぐそこ AIかんたん 更別 ジム 歌って 大人の 楽しく運動 収穫期お知らせ 健康アプリ 使い放題 専門医 踊って たまり場 病院予約 フードエコシステム あんしん チャット 温泉・サウナ 医療情報 ひゃくワク 更別 写真·動画 見守り コーチング 使い放題 おあずかり 予防医療 村民講座 共有アプリ 次世代と高齢者のアグリ人材確保と育成 デジタル公民館

らくらくサービス予約 さくさく行政届出すいすい村内移動 情報センター 無料スマホ貸出 Well-being指標の収集・分析 インキュベーション 共助モデル市街地フリーWi-Fi デジタルサポート データ連携基盤管理

事業概要(2/2) 【更別村SUPER VILLAGE構想】

